

無差別銃弾下、シリアリカ学生と連帯、18●軍のインドシナ反革命
進攻粉碎？インドシナ革命戦争一東アジア革命勝利？日帝の反革
命介入ーアジア会議阻止？

5.8-12 大阪港軍港化阻止斗争に起て

5.9治安弾圧体制粉碎集会(5時半 大阪市立労働会館) (8日6時 大阪港労働者会館で)
5.14「アジア会議」粉碎？全関西統一行動(6時 扇町)
5.16反軍、反基地全国活動者会議(東京)

用治されたアメリカ帝国主義内部
からの反乱と結合し、「インドシナ」
東アジア革命陣線の最後のあかき
を粉碎せよ。

全市大の斗争受諾者。とりわけ48を我が反帝学生戦線とともに
市大二五〇名の隊列で斗い抜いた全ての諸君。

カンボジア地上進取一北爆再開と、赤い恐怖に裏打ちされたニワソ
ン米軍の狂気の行動は、早くもそのフニニなる破壊を開始した。後
進口特有と言われたテモ隊への無差別銃弾弾圧は、世界を支配する資
本主義アメリカでも用をされ、史上最大の帝国アメリカは混乱と内
部対立を露呈し、内部からの自壊作用をいよいよ止めどなく開始した
。「帝国主義戦争を内戦へ転化せよ」

スラック・パンサーとともにアメリカ学生は、銃弾の弾圧下、断固た
る闘いを開始した。スト、バリケード、市街戦、そして幾万の大衆を
我々の斗いは既に明らかにした米軍内部からの兵士叛乱は、一挙に
爆発せんとしている。入手した情報によれば、岩田基地の海兵隊内部
には「カンボジア進取カンボジア進取を拒否しよう」という
マルセルが兵士自身の手で、行われているという。

このように、日本を揺るがす動きは、これぞ「インターナ
ショナルイズム」なのだ。アメリカ、インドシナ、アジア
人民は、米帝の腹割れからの解放を、アジア革命戦争、東アジア革
命勝利を成るだろう。

そして、48全日全只、全日反戦、6月行動を三者共催の集いに
マセーシを遂げてきたのは、他でもない、南バトナム臨時革命政府だ
ったのだ。今や、インドシナ、中ロ北朝鮮、日本反帝勢力を結ぶ単
一の、巨大な「アジア革命の主体が」「反帝、反スタ」論や、「平和
共在」論のりえて、公然と歴史に登場を開始してきたのだ。

カンボジア問題アジア会議への積極
的参加を阻止せよ。日帝のアジア侵
略反革命戦線への主役的登場を日本
のロレタリアート、の総力で阻止せよ。

米軍の狂気の策動をやむを得ない措置と理解を示す日本政府は、政治的
中立のポーズをとりながらも、その裏、極めて能動的にアジア侵略戦争
命戦線への主役的登場を容れ入れている。今や、中ロ、北バトナム、
北朝鮮の参戦の参加を容れ、マダの反帝反革命の本質を露わにした
「カンボジア問題アジア会議」(16、17日、ジャカルタ)に唯一我が
日帝が積極的参加を叫びかけているのだ。一方で米軍の決定的敗北の局
面を目にしなうも、未だその歴史的内的脆弱性により全面的にアジ
ア反革命国家としての登場を果たせない日帝は、この会場の政治的イニ
シアをとることを躊躇口にして、その年代アジア支配米帝に代わるア
ジア侵略反革命の主役へと「危境を内に胎を破滅とを命なりで成さんと
している。」「米帝のカンボジア侵略加担」といつに止まらぬ日帝の意図
は、米帝の反革命への補完的登場をきめかねて東亞に要請しつつも、そ
の中で市大日本としての、その年代戦争的闘争を貫徹
せんとしているのだ。即ち日帝の世界戦略は、これに在るのだ。
全なる帝国主義的、反革命国家への転換に在るのだ。
全自主防衛、安保放棄、沖縄返還、改憲し、いよいよ
だ全面化して、いよいよ内的行動が、我々反帝勢力に在る狂
気の弾圧、石田最高教長官の言明「裁判官に在る主権者は
不適」「企業には、反戦派は不適」「首切りレッドパー
ティ、右派親米主義的、労働運動の育成、更には、中道親米
派、制空権、制海権掌握、原潜保持」という四、五次所計
画、それに見合う方式の軍事産業、産業複合体の形成(二、三
に大規模産業の主要な日本企業)、自衛隊基地の再編
高規格化等として表れ出しているのだ。反革命行動を客観的
に見れば、内面的弱体化を「我々反帝勢力」に在る。

が革命の軍への転化の欲す。この方面に、インドニナガサ
の緊迫下、準備されるアジア会議への「政治的中止」の最
いささした積極的参加の意図があるのだ。

アジアへ向けた日本最大の基
地大阪港の軍港化と港内労働
者と連帯して阻止せよ。

インドニナガサに突き上げられながらも、日本共産党の
目的意識的（決して場当たり的ではない）展開は、沖縄の
帝國的統合（沖縄基地侵略排除の高度化）と管理施設
の建設、日本軍隊の沖縄派遣と自主防衛体制、沖縄への資
本輸出、沖縄の過剰労働力の創出と利用本土吸収、沖縄労働戦
線の分裂と解体、行政的一体化と軸として、政治、軍事、主
有、社会にわたる帝國的再編として進行している。関西に
おいては、近畿圏整備の名で、大阪港軍港化、淡路島（あか
ん）関西新国際空港設置、八尾・信太山・宇治大久保基地の再編、
あいばのミサイル基地設置が、現地の労働者、農民、市民の反
対を押し切って強行されるようになっている。とりわけ大阪港は、
万博を契機にベルトナミ参戦（オーストラリアを含む）隻の軍艦を
自衛艦とともになくす目的に、また将来は自衛艦輸送と
という声に裏付けられ、膨大な三隻重工、小松製作所等々の
巨額生産、輸送の基地と化しているのだ。更には、大阪港を整
備計画に基づき、産業複合体の形成を軸とさせる石油コンビナ
ト化、更にコンビナート建設の建設が、港内労働者への脅威と件
なっているようにも思っているのだ。ここにこそ、その年代の縮
図があり、現在の階級防戦の縮図があるのだ。「七の生安保
み」を通過しては、行政大々で次々と具体化されつつあ
る時、この攻勢を、現地で阻止していかねばならない。日本原
にありて、現地農民とともに、我々が大阪港軍港化の事態

な、基地拡張阻止のための着地せよ。演習を中止させた
ように、大阪港の軍港化を我々の手で阻止しなればならぬ。
ヨーロッパへへぐも二の恒常的創出を目指すこれらの国際主
義と具体的現実とでもつ反帝戦争闘争が、反政府全日斗争に
転化し、あるいはこれと統合したとて、帝國的統合は行われ
るであろう。

428街頭カンパニアに結集された全ての諸君
自立的な行動行動団を作り、自らの運動の組織者として登場
せよ。

我々市大阪府学生戦線、そして全高斗連南都共斗、西野地
区反戦とともに「軍港化阻止共闘」に結集し、大阪港軍港化阻
止斗争を「東アジア革命勝利ー日帝打倒」へ向けて大胆
に組織せよ。

市大阪府学生戦線

カンパ要請状

前日（10月11日）委員長

山本カミヨ君への手紙を。

（昨秋、11月13日府下等の宿題で、四月二十七日令状連補）

10.4、10.21、11.13 斗争被起訴者へ

保証金・裁判斗争資金カンパを叩
00